

山形県の古木・名木 138

上倉山のクロベ（かみくらやまのくろべ）

朝日町上倉山

今回は朝日山系上倉山のクロベの巨樹を紹介します。林野庁が次世代への財産として残すべき日本の巨木として選定した「森の巨人百選」に選ばれています。

クロベは日本特産のヒノキ科の常緑針葉樹で、ネズコとも呼ばれています。

上倉山のクロベは、朝日鉱泉から朝日岳への登山コースである御影森山コースを2時間ほど登り、最初のピークである上倉山を過ぎた所にクロベへの案内板があります。そこで登山道を右にそれ、ピンクテープに導かれてヤブを進むと大きなクロベが現れますが、それではありません。更に進むと堂々たるクロベの前に出ます。幹周9.27m、樹高20mで見るものを圧倒します。2時間の登りは大変きついのですが、苦しい登りを忘れさせてくれる素晴らしい巨樹です。是非見に行ってください。〔山形県森林協会〕

